

令和2年4月9日

かぶら聖苑使用時の 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

曹洞宗群馬県宗務所第13教区

葬儀の意義・重要性について説明し、理解を得るとともに、密閉・密集・密接の3つの『密』を避ける可能な限りの対策を行って感染拡大防止に努め、大切な命を守りましょう。

葬儀等を計画するに当たって

参列者の感染を心配して『家族葬』を選択する葬家が多いが、逆に自宅に直接弔問に訪れる人が増え、感染リスクが上がる可能性があることを説明し、感染予防と遺族の心のケアを重視して計画を立てるようにする。

『密閉』を避ける対策

- 扉を開けて常に換気に心がける。(管理者・業者の対応)
- 通夜や葬儀・告別式の弔問者が室内で密閉空間で待たないように、行列になる場合は2mの間隔を空け、建物外の広い空間で待機してもらうように、係が誘導する。(業者の対応)

『密集』を避ける対策

- 椅子を間引いて間隔を十分に空ける。(管理者・業者の対応)
- 密集した狭い場所での感染リスクを下げることに努める。
 - ・お花入れ・火葬・収骨等では、葬家の意向を重視しつつ、最低限の人数とするよう、事前に相談する。
 - ・火葬炉前の左右に2室設けられている『告別室』は、狭くて密集状態となるため使用しない。火葬炉前で読経・焼香し最後のお別れをする。
- 「通夜」での対策
 - ・大勢の密集状態にならないように、一般の弔問者は、間隔を空けながら受付し、ロビーに設置された香炉で焼香して帰っていただく。身近な親族のみで通夜を行う。
- 「葬儀・告別式」での対策
 - ・一般の弔問者は、間隔を空けながら受付し、ロビーに設置された香炉で焼香して帰っていただく。
 - ・葬儀・告別式は身近な親族のみで行う。

通夜の次第

一般の弔問者は受付後、開式を待たずにロビーで焼香
親族代表者は立礼（可能な範囲で）
弔問者の焼香了って導師は脇の入り口から入場
18:00 通夜（家族葬と同じ）
閉式後の会食なし、弁当等の持ち帰り

葬儀・告別式の次第

一般の弔問者は受付後そのままロビーで焼香
親族代表者は立礼（可能な範囲で）
弔問者の焼香了って導師は脇の入り口から入場

《午前葬の場合》
10:30 葬 儀（親族のみ）
11:00 告別式
身近な親族のみで火葬・収骨
（火葬中の会食には十分注意する）
初七日法要・寺送りは各寺院で工夫して対応

《午後葬の場合》
午前中、身近な親族のみで火葬・収骨
13:30 葬 儀（親族のみ）
14:00 告別式
初七日法要・寺送りは各寺院で工夫して対応
会食なし、弁当の持ち帰り等

『密接』を避ける対策

- マスク着用や手指の消毒を呼びかける。
 - ・管理者がポスター掲示、司会者からも呼びかける。
 - ・僧侶もマスク着用を基本とする。
- 人と人の接触機会を減らし、接触時間の短縮に努める。
 - ・親族代表挨拶は必須としても、弔辞弔電は可能な限り省略。
 - ・法話を簡潔にまとめ短くする、印刷物を配るなど工夫する。
 - ・法要時に配経はしない。
- 通夜・葬儀後の会食はやめて、弁当などを持ち帰ってもらう。